

# この夏、哲学をはじめよう

第42回

## 夏期哲学講座

2022 8 | 20 土 13:30 - 21 日 16:30



人はどこから来てどこへ行くのか――

あなたの周りには、哲学する場があるでしょうか  
哲学について考え、語り合う場があるでしょうか

今年で四十二年目を迎えるこの夏期哲学講座は  
直に人と出会い、人と対話して、  
生きた哲学を学ぶことのできる講座です。

「少し興味があります」という方から  
「長年、哲学を勉強しています」という方まで、  
どなたでも参加できます。

場所は、日本最初の哲学者・西田幾多郎の故郷  
日本海をのぞむ「哲学の博物館」  
安藤忠雄が設計した、考えるための空間です。



石川県

### 西田幾多郎記念哲学館

Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy

〒929-1126

石川県かほく市内日角井1番地

TEL (076)283-6600 / FAX (076)283-6320

Email nishida-museum@city.kahoku.lg.jp

<http://www.nishidatetsugakukan.org/>

開館時間 9:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで)

休館日 月曜日 (祝日の場合は翌平日)

交通アクセス

- 車利用：北陸自動車道「金沢東I.C.」～約20分  
のと里山海道「白尾I.C.」～約5分
- 電車利用：JR金沢駅～IRいしかわ鉄道経由・  
七尾線(約25分)～宇野気駅

- 日時 令和4年8月20日(土) 13:30 ~ 21日(日) 16:30  
■会場 石川県西田幾多郎記念哲学館(石川県かほく市内日角井1番地)  
■定員 40名 ※定員に達し次第締め切りとさせていただきます。  
■受講資格 18歳以上

- 受講料 [一般] 10,000円 [学生/かほく市民] 6,000円  
※20日の夕食と21日の昼食、2回分の食事がつきます。  
※学生割引については、科目等履修生(聴講生)は対象外とさせていただきます。

#### ■宿泊方法

- ◎ 合宿 例年、「合宿」の場を設けておりましたが、今回は新型コロナウイルス感染拡大を防止する観点から、合宿所を開設することができません。大変申し訳ありませんが、各自で旅館を予約していただきますようお願いいたします。

- ◎ 旅館 旅館は各自でご予約ください。参考までに、宇野気駅最寄りの宿名と電話番号を記載しますので、よろしければご利用ください。詳細は、直接宿にお問い合わせください。

なごみ亭 (076)283-5550 [JR宇野気駅から徒歩2分] ※旧さか井や旅館

#### ■交通アクセス

哲学館がある「かほく市」は、能登半島の根元、金沢市より20km北に位置します。

- ・自動車:北陸自動車道(金沢東IC)から、国道159号線で七尾方面へ約20分。  
のと里山海道(白尾IC)から約5分。
- ・電車:JR金沢駅から、IRいしかわ鉄道経由・七尾線で宇野気駅へ約25分。  
宇野気駅から徒歩約20分(タクシー 5分)。
- ・飛行機:小松空港から空港バスで金沢駅まで約50分。金沢駅からは同上。

- ◎ 宇野気駅から哲学館まで、講座期間中は下記の無料送迎バスをご用意いたします。  
時間の都合が合うようでしたらご利用ください(なごみ亭を経由します)。

	〔行き〕宇野気駅発	〔帰り〕宇野気駅着
20日(土)	12:05、13:05	19:00
21日(日)	8:15	16:45

※バスの発着場所は、宇野気駅正面東口(銅像側)になります。  
時刻が変更となる場合は、講座中にお知らせします。

- 申込締切 令和4年7月31日(日)  
※定員に達し次第締め切りとさせていただきます。

#### ■申込先、お問合せ

石川県西田幾多郎記念哲学館  
〒929-1126 石川県かほく市内日角井1番地  
TEL (076)283-6600 / FAX (076)283-6320  
E-mail: nishida-museum@city.kahoku.lg.jp

新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いいたします。今後の感染状況によっては変更・中止となる場合がございます。ご来場の前にホームページをご確認ください。

## ■ 申込方法

下記①～⑩の項目を、全てご記入の上、哲学館までお申し込みください(郵送、メール、FAX可)。申込受付後に、振込用紙をお送りいたします。(＊マークは、いずれかをご記入ください)

①名前(ふりがな) ②電話番号 ※講座開始までの間に、必ず連絡がとれる番号をお知らせください。

③郵便番号・住所 ④性別 ⑤年齢 ⑥参加回数

⑦職業 ※学生の方は、学生証のコピーを添付してください。

⑧「宇野気駅～哲学館」の無料送迎バスを ＊利用する／利用しない

⑨参加を希望する研究会を選択してください。(下記参照)

○(20日)研究会Ⅰ……＊第1希望 A／B／C、＊第2希望 A／B／C

○(21日)研究会Ⅱ……＊第1希望 A／B／C、＊第2希望 A／B／C

※教室の人数調整上、第2希望を受講していただくことがありますので、ご了承ください。

⑩最近興味のある事・本、参加動機などを100字程でお書きください(研究会で自己紹介に使われることがあります)。

※上記項目のうち、都道府県および①⑥⑨⑩は、受講生に配布する冊子に掲載させていただきますのでご了承ください。

また、この個人情報、哲学館で開催される講座に関する当人へのご連絡以外の目的には使用いたしません。


◇受講生による研究発表が21日にあります。発表を希望される方はテーマをお知らせください。

※発表時間はお一人15分以内となります。希望者が多い場合はお断りすることがありますのでご了承ください。

	講師	8月20日(土) 研究会Ⅰ	8月21日(日) 研究会Ⅱ
A	秋富 克哉	ハイデッガーの「形而上学とは何か」を読む	西田幾多郎の生命論
	講師のコメント	<p>原著『存在と時間』の刊行2年後に発表された本論考は、小篇ながら、きわめて豊かな内容を具えています。テキストの展開をたどりながら、ズバリ表題そのままのハイデッガーの問いについて考察します。</p>	<p>今日さまざまな問題に直面している「生命」について、西田はどのようなことを考えたでしょうか。『善の研究』を押さえつつ、生命を主題にした後年の論考をもとに、西田の基本的立場に接近することを目指します。</p>
B	佐野 之人	道徳宗教の躓きから『善の研究』書き初めまでに何があったのか？	ヘーゲル『大論理学』 有・無・成の弁証法を読み直す
	講師のコメント	<p>『善の研究』第二編は哲学道徳宗教の一致を高らかに宣言しています。しかし前年度の講義草案では道徳および宗教に西田は躓いています。この間数か月。その間に何があったのでしょうか。その謎に皆さんと共に迫ります。</p>	<p>すでに過去のもの、分かりきったもの、あるいはこじつけにすぎないものとみなされるに至った有・無・成の弁証法。もう一度初めてテキストに接した時の心で読み直してみたいと思います。そこから何が立ち現れてくるか。</p>
C	脇坂 真弥	人間の生の被贈与性 マイケル・サンデル『完全な人間を 目指さなくてもよい理由』を手掛りに	創造的注意とは何か シモーヌ・ヴェイユにおける「注意」の概念から
	講師のコメント	<p>サンデルが説く「生の被贈与性」は、生をコントロールしようとする人間の傲慢を戒める一方で、生の優劣というパンドラの箱を開きます。このような世界の在り方を踏まえて、他者と共に生きる意味を考えてみましょう。</p>	<p>ヴェイユは聖書の「善きサマリア人」を引き、肉塊に過ぎないものに人格的実在を与える(返す)「創造的注意」について述べています。「注意」をめぐる彼女の複雑な論述を読み解き、この主張の意味に近づいてみます。</p>

※研究会で使用するテキストは、主催者側で用意します。

## 第 42 回夏期哲学講座 日程と講座内容

時間	8月20日(土)	8月21日(日)
8:00		8:30
9:00	※受付後、受講生は 展示室への入室ができます。	写真撮影(階段庭園)
10:00		9:00
11:00		研究会Ⅱ (選択制)
12:00	12:00	12:00
	受付(~13:30まで)	昼食
13:00	12:30	
	ビデオ上映「西田幾多郎」 (希望者のみ)	13:20
	13:30	研究発表
	開講式	14:20
14:00	オリエンテーション	休憩
15:00	研究会Ⅰ (選択制)	14:30
16:00		公開講演会
17:00	17:15	16:00
	墓参	閉講式
18:00	落日拝・夕食 (海岸)	16:30
18:50		 落日拝

### 公開講演会

※受講生以外も聴講できます。(参加費 500 円、要申込)

8/21(日) ソポクレス『オイディプス王』考  
14:30~ 一つの哲学的アプローチ

秋富 克哉 (京都工芸繊維大学教授)

## 講演会・研究会講師プロフィール

### 秋富 克哉 (あきとみ かつや)

京都大学で学ぶ。京都工芸繊維大学教授、西田哲学会前会長。専門は日本哲学・ハイデッガー。著書『芸術と技術—ハイデッガーの問い』、『原初から／への思索—西田幾多郎とハイデッガー—』、共編著『ハイデッガー『存在と時間』の現在』等。

### 佐野 之人 (さの ゆきひと)

京都大学で学ぶ。山口大学特命教授。専門はヘーゲル、京都学派、ハイデッガー。現在、山口市の西田幾多郎が住まいした旧宅で、毎週山口西田読書会の講師も務めている。共著『続・ハイデッガー読本』等。

### 脇坂 真弥 (わきさか まや)

京都大学で学ぶ。大谷大学教授。専門は宗教哲学、倫理学、カント、シモーヌ・ヴェイユ。著書『人間の生のありえなさ(私)という偶然をめぐる哲学』、共著『宗教の根源性と現代(第1巻)』、『宗教学事典』等。